

令和6年度12月全校集会校長講話

令和6年12月24日（火）

おはようございます。校長の鴨志田新一です。

明日から、15日間の冬休みに入ります。

年末年始にあたって、今年一年を振り返り、そして新しい年を迎え、改めて志を立ててください。

毎年、年末を迎えると、1年間の世相を表す「今年の漢字」が発表になります。

今年の漢字は「金」（きん）でした。

パリで開催されたオリンピック・パラリンピックでは、日本人選手が大活躍し、オリンピックでは20個の金メダルを、パラリンピックでは14個の金メダルを獲得しました。

特に皆さんと同じ年代の若い選手の活躍が顕著でした。未来を担う若い世代の活躍は、本当に嬉しい思いがします。

他にも新札の発行や佐渡の金山（きんざん）のユネスコの世界文化遺産登録という明るい話題もありました。

一方、政治の世界では「裏金問題」や「金（かね）目当て」の闇バイトの強盗事件、止まらない物価上昇など「金（かね）」にまつわる影となる話題もありました。

皆さんは一年を振り返り、自分の一年の漢字が思いつきますか。

私は、一年の漢字として「縁」を挙げます。

常盤高校の校長になって、2年目になります。

この間、これまで関わりのなかった医療関係者や福祉関係の方、日本赤十字の方などとお会いし、交流することができました。

全国の看護系の高校の校長先生や先生方とも交流ができ、知り合いになりました。

自分とは、全く違う分野の人達とお話することは、とても楽しく、為になります。

こうした「縁」を大切にしたいと思います。実は、この「縁」のつながりから、学生時代以来、会っていなかった昔の知人などにも再会することもできました。

皆さんの前で、こうしてお話をしているのも、とても深い「縁」を感じています。

来年も、私は「縁」を大切にしたい一年にしたいとも思っています。

さて、今日は皆さんに。アメリカの心理学者のウィリアム・ジャームスが残した言葉を贈ります。今から100年近く前に活躍した人物です。

彼の言葉は、昨年8月の全校集会でも一つ紹介しました。

今日はメジャーリーグで活躍した松井秀喜さんの座右の銘となっている言葉を紹介します。

考え方が変われば行動が変わる

行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる

人格が変われば運命が変わる

運命が変われば人生が変わる

聞いたことがあるかもしれませんが、松井さんはこのことばを高校時代、母校の石川県の星陵高校の野球部の監督さんから贈られたそうです。

「考え方」とは「価値観」といってもよいでしょう。「価値観」はその時に自分が感じたり、自分が大切に思ったり、考えたりしたことを指します。

同じ出来事や事象でも、人によってはポジティブに捉えたり、ネガティブに捉えたり様々です。

例えば、看護の勉強でも、その勉強をどう捉えるか、その価値観によって、その後の結果が変わってみます。

価値観を変えることで、人生を良く生きるのは、自分次第です。

皆さん、自分を知って、幸せな人生を送りましょう。

最後に集会の決まり文句です。「凡事徹底」当たり前のことを当たり前にする。

この考え、いわゆる価値観だけでも、人生は変わってきます。

是非、「凡事徹底」 そうして、常盤高校の全員が幸福な人生を送ることを心より願っています。

年末年始は、何かと慌ただしく、誘惑や危険とも背中合わせです。また、交通事故も多い時期です。

十分に意識しながら、安全に過ごしてください。何かあった時には、自分で判断せず、周りの大人や学校に相談することです。

そして、1月9日には、元気な姿で、学校で会えることを楽しみにしています。

毎回、全校集会や式典で私が話した原稿は、学校のホームページの「校長室より」に掲載しています。もし、気になったら読んでください。

考え方が変われば行動が変わる

行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる

人格が変われば運命が変わる

運命が変われば人生が変わる

私からは以上です。